



春日井ロータリークラブ  
2014～2015年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

# ロータリアンのフェロシップで、 世界・地域に、何か良い事をしよう！

植物園 ニュートンのリンゴの木

会 長：加藤 久仁明 例 会 日：金曜日 12:30～13:30  
副 会 長：蓮野 美廣 例 会 場：ホテルプラザ勝川  
副 会 長：山田 治 事 務 局：春日井市鳥居松町5-45  
幹 事：近藤 太門 T E L：(0568) 81-8498  
会報委員会：長谷川 英輝 F A X：(0568) 82-0265

E-mail: [ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)



## 本日のプログラム

2015年2月28日(土)2222回(3月第1例会)

- |              |          |
|--------------|----------|
| ・点 鐘         | 和 田 了司君  |
| ・国 歌         | 加藤久仁明君   |
| ・ROTARY SONG | 「君が代」    |
| ・ビジター紹介      | 「四つのテスト」 |
| ・食事・歓談       | 加藤久仁明君   |
| ・委員会報告       |          |
| ・会長挨拶        | 加藤久仁明君   |
| ・補助金事業       |          |
| ・幹事報告        | 近藤 太門君   |
| ・点 鐘         | 加藤久仁明君   |

て参加記念品と記念の盾を出しています。詳しい事は2月24日の中日新聞近郊版(春日井ロータリークラブの名は出していません)と今週のウィークリーに掲載されていますのでご覧ください。

3月4日から7日にかけて、フィリピン国セブ島に、第3回『あしながおじさんプログラム』事業の奨学生の選考に行ってまいります。その折セブロータリークラブに公式訪問して参りますが、セブロータリークラブに一つの提案をしてきたいと思えます。その提案は、奨学生支援事業の『あしながおじさんプログラム』は、継続していきませんが、「奨学生の選考を第4回目から、セブロータリークラブにお願いできないか？」との提案です。我々が奨学生候補の彼女達と会い、レクチャーしても、言葉の壁が有り、彼女達のPRを良く理解できず、候補から外れた子の悲しい顔を見ると、本当にこの選考で良かったかと思えます。第2回目はこの思いが有り、8名の予定が一人増え9名になった事も有り、言葉と彼女達の事情が分かる、セブロータリークラブのメンバーに選考してもらえば、確かな人選が出来ると思い提案して参ります。春日井ロータリークラブは、毎年の彼女達の受け入れ態勢だけはしっかり決めておく必要が有ります。今回も8名の奨学生を選考して来ますが、クラブとしては6人の受け入れ態勢しかできていません、我々が帰国するまでに受諾してくれる方、事務局まで申し出て下さい。メンバーの皆さんご理解宜しくお願い致します。

## 先週の記録

**会長挨拶** **会長 加藤久仁明君**  
先週は多くの事業が有りました。2月21日～22日 RI 第2760地区の地区大会が有りました。地区大会は例年11月に行われていますが、半田市の山車と伝統を見学しようと言う事で、21日は半田市福祉文化会館で、半田ロータリークラブ主催、南尾張6ロータリークラブ協賛で開催されました。21日には午前中、各クラブで次年度理事役員が決まった時期なので、次年度会長幹事の会議が行われました。午後からは、昨年度の地区決算報告等が審議可決され、次期ノミニーに、岡崎ロータリークラブの服部良男君が、選出されました。22日は場所を変えて、例年通りウェスティン名古屋キャッスルで開催され、各セレモニー後、元中国大使 丹羽宇一郎氏の講演で幕を閉じました。23日春日井警察署で昨年開催した春日井市内の中学、高等学校対象100日間自転車無事故無違反ラリーの表彰式に会長、副会長、幹事、副幹事で行って来ました。春日井ロータリークラブは、協賛とし

明日、青少年自然の家で、昨年の45周年記念事業『ニュートンの林檎の木』の第2弾『ニュートン科学館』贈呈式を伊藤太春日井市長をお招きしての例会が有ります。出欠の返事が出して無いメンバーでも、メンバーは行けないが家族が行け

## 識字率向上月間

例 会 予 定	3月13日(金)	3月22日(日)	3月27日(金)	4月1日(水)
	理事役員会 11:30 クラブ協議会 13:30 祝福、卓話加藤宗生君 各委員長挨拶	3月20日例会変更 I M 14時～ ナゴヤウェスティンキャッスル	春日井警察署員表彰 卓話 春日井警察署長	4月3日例会変更 セブRC歓迎例会 18時ホテルプラザ勝川

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：[ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)

ると言う方、出席メンバーの奥様、子供様、お孫様を連れて、10時頃にお出かけ下さい。餅つきや、簡単な食事の用意をしていますので、受付で誰々の家族と言って頂ければ良いですので、多くの皆様、参加して楽しみましょう。

**幹事報告 幹事 近藤 太門君**

峠テル子君、卓話をありがとうございました。短い時間ですみませんでした。

では、幹事報告をします。今週はクラブには特にありませんが、

※ 地区より第2回広報、雑誌委員会開催を以前に案内をしましたが、3月26日の会議の為の会議を3月19日(木)16:00~17:00迄の予定で、ガバナー事務所で、開催されます。出席は志水ひろみ君です。

※ 春日井市姉妹都市市民の会から役員会の案内が来ています。日時は3月16日(月)午後6:00~、グリーンパレス3階第7会議室です。

※ 春日井市社会福祉協議会から27年第1回評議会開催への出席依頼が来ています。日時は3月23日(月)午後2:00~総合福祉センターです。以上の2件とも出席要請者は加藤久仁明会長です。よろしくお祈いします。

次週予告と言いますか、明日の連絡をします。明日は少年自然の家で「万有引力の実験機器」を市への寄贈式を行います。会員の皆様は白のジャンパーを着用のうえ、10:00迄にお集まりをお願いします。寄贈式の後例会を行います。従って3月6日(金)の例会変更ですので、6日はありません。翌週の3月13日は11:30分~理事役員会を行います。例会後の13:30分~クラブ協議会を開催します。関係者の皆様方には、よろしくお祈いします。

幹事報告は以上です。

**◎例会変更の案内**

瀬戸 RC	3月18日(水) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル
小牧 RC	3月18日(水) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル
犬山 RC	3月24日(火) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル
江南 RC	3月19日(木) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル
名古屋城北 RC	3月24日(火) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル
瀬戸北 RC	3月24日(火) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル

愛知長久手 RC	3月24日(火) 3月22日(日) IMの為ウエスティンナゴヤキャッスル
----------	---

**出席報告 委員長 伊藤 純君**

会員 59名	欠席 27名	出席率 54.2%
先々週の修正出席	欠席 1名	出席率 98.3%

**ニコボックス報告 委員長 古屋 義夫君**

○会長挨拶が少し長くなりますので、たくさん出ささせていただきます 加藤久仁明君

○写真展には多数の来場ありがとうございました。クラブからの盛花、ありがとうございました

北 健司君

○写真展、力作ぞろいでした。早川さん、ご説明をありがとうございました 川瀬 治通君

○少し、良い事がありました 山田 治君

○いつも有難うございます 大橋 省吾君

○卓話をさせていただきます 峠 テル子君

○峠さんの卓話を聞く喜びで 近藤 太門君

和田 了司君 小川 長君 磯野 俊雄君

松尾 隆徳君 貴田 永克君 河村 哲也君

○今日も宜しくお祈いします 名畑 豊君

加藤 宗生君 林 憲正君 加藤 茂君

風岡 保広君 成瀬 浩康君 宅間 秀順君

屋嘉比良夫君 亀谷 鉦一君 社本 太郎君

岡田 義邦君 蓮野 美廣君 朽本 正樹君

**卓話 峠 テル子君**

国際奉仕活動「グローバルグランド事業と識字率とWFF」

昨年の暮れ、この例会の後宅間プログラム奉仕委員長と立ち話をしている時に、「私は来年1月に地区国際奉仕委員会から台湾に行ってきます」と話しましたらガサガサ何か書き始めまして、「ハイ請求書」といって本物の請求書を頂きました。ドキッとしてよく読みますと、《2月27日 卓話也》と書いてありました。

それから2カ月間、地区国際奉仕委員会の先輩方に「識字率について」とか「WFF」等いろいろなことを教えて頂きました。

先ず、台湾の「花蓮黎明教養院キルトセンター」の開講式に行きまして参りましたので、この報告をさせていただきます。

今年、H27年1月18日~20日に執り行われた、愛知県第2760地区と台湾第3500地区が共同しての事業であります《グローバルグランド「花蓮黎明」教養院のキルトセンター」設立支援事業の式典に、杉浦地区国際奉仕委員長はじめ6名で行って参りました。

今回のグローバルグランド事業の目的は、「台湾の「花蓮黎明教養院のキルトセンター」支援事業

です。黎明教養院は、院内で教育訓練室を設立して、心身障害者や母親単親家庭に対して教育する場です。そのためにミシンとミシン置き台2台等の支援事業です。花蓮県は、産業が少なく働く場が殆どないです。そこでキルトを習いそれを販売して収入源として子供を育てるための援助事業です。

以上がグローバルブランド事業の報告でした。

そして、私は「識字率の向上について」大変、重要な事を勉強しました。お陰様で「識字率の向上」を目指す事が、世界平和の為に、とても重要であることが分かりました。

\*世界の識字率の向上はとても大きな課題です。日本国内では識字率について、あまり関心はないかもしれませんが、世界ではまだ、重要なテーマです。

昨年ノーベル平和賞を受賞した、若干17歳のパキスタン人 マララ・ユスフザイさんです。彼女は世界に向けて、女性の教育の必要性を説いています。そんな彼女は2012年10月9日に、女性教育の必要性を否定する反政府武装勢力・パキスタン・タリバンから銃撃を受けました。マララさんは、奇跡的に生還され、それから9カ後、2013年7月12日に国連などで子女教育の必要性を訴えております。

\*識字率の定義です。①基本的識字とは、アルファベット等を、きちんと読める。②機能的識字とは、考える力・判断する力。読み書きが出来、コミュニケーションが出来る。

文字が読めないその理由は、①貧しい家庭の子どもや孤児は、学費が払えない、学用品を買うお金がない、家計を助けるために働かねばならないから、②近くに学校が無い、③女の子は学校に通う必要がないと言われる、④先生の人数が足りない等です。

教育を受けられない(非識字) → 読み書きが出来ない(生活の基礎知識が不足) → 安定した職業に就けない → 収入が少ない → 教育を受けられない。

この貧困のサイクルを断ち切る有効な方法の一つが識字教育です。\*3月は、「識字率向上月間」です。

次に、WFF「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」です。《地区事業としての更なる飛躍をめざして》をテーマとしています。第1回WFFの収益金で建設した簡易水道施設をH2014年4月26日にカンボジアに引き渡しました。そして、昨年H2014年11月1日~3日に開催された第2回WFFの収益金も4月にカンボジアに引き渡します。地区国際奉仕委員会はWFF事業でカンボジアでの水支援&教育支援事業に全力で取り組みます。有難うございました。



卓話 峠 テル子君

#### <次期委員長挨拶>





あしなが奨学生からの手紙  
#10 アレーン・B・エンギト  
あしながおじさん 磯野 俊雄

親愛なるあしながおじさんへ。

以前にお送りした手紙から3か月がたちました。その3か月に多くのことが、特に学校で起こりました。6月は栄養の月で、とても大変なの。なぜかって？それは栄養のダンスコンテストというイベントに私も参加するからです。それは、私の勉強の成果に加点されるからですが、実際のところ栄養の演奏コンテストは、学校生活のなかで最も忘れられないものの一つなのです。なぜなら、第一位をとったからです。一位になることは私たちにとって簡単なことではありませんでした。私たち9年生同士や8年生の演奏の出来はとても接近していて、私たちは2位かなーと考えていました。でもその後、結果にみんな大喜びしたのです。再び優勝することは、本当に嬉しい事でした。おじさま、事実、昨年も私たちは栄養の演奏コンテストで優勝していたの。

コンテストの後は、声もなくなく、楽しく……6月が終わり、ブロン・ング・ウィカの月が始まるまでは。そしてこれもまた大変なの。ブロン・ング・ウィカにクラスメートも私も参加しなければいけなくて、いつでも練習していないといけないから。それはまるで今日と明日、一日中しっかり練習して、そして翌日は小道具を作り、一日中小道具をつくり……うーん、なんて疲れる日々でしょう！……でも、それでも不満をいう事はできません。それは、私たちは高い成績が必要だから。特に私にとっては。私は本当に、本当に、フィリピン語が嫌いな。どうしてかはわかりません。



ただ、フィリピン語を理解するのにとっても時間がかかるということです。一言でいえば、フィリピン語の点では、のんびり学習しているってことかな。

とっても変ですって？わたしはフィリピン市民ですが、わたしがフィリピン語を理解するのはとても大変。本当に奇妙だわ。古からのブロン・ング・ウィカは、実際は8月にお祝いされます。それは私たちの母国語をフィリピン中にひろめました。丁度、栄養の月とおなじように、多くのイベントがあり、そこには解釈の創作ダンスも含まれます。そのダンスで、ブロン・ング・ウィカのテーマに合った音楽と、ダンスにより解釈されたものを見ることができます。本当のところ、私はダンスに参加し、神様に感謝するのは大好きで、このチャンスを今年も得ることが出来ました。

繰り返しますが、私は昨年も既に参加していて、昨年は解釈の創作ダンスで優勝していましたので、私たちが初めて参加する9年生に負けたことはとても悲しかったです。……大丈夫ですよ。コンテストでは2位となりましたから。2位になることは、全然悪い事ではないです。すでに、気持ちは切り替えました。そして8月が終われば、その後は一か月中お祝いしているという月もまた終わるのです。



あしながおじさん、お聞きしてもいいですか？今、ちゃんと解ってもらえましたか？私は本当の気持ちをこの手紙にちゃんと表現することができなくて……私の生活で起こっていること全てを、個人的にあしながおじさんに詩って欲しいのです。あしながおじさんありがとう。あなたは本当に素晴らしい方です。早くお会いできることを願っています。このシンプルな手紙で「幸せ」を届けられたらいいな。全ての恵みに感謝しています。バイバイ。

